

海外渡航移植患者の実態調査

海外渡航移植患者の実態調査概要

○ 調査目的

臓器移植後患者の外来診療実施施設を対象に、海外渡航移植患者の実態を把握するための調査を行う。

○ 調査方法

厚生労働科学研究費補助金移植医療基盤整備研究事業「臓器・組織移植医療における医療者の負担軽減、環境改善に資する研究」（研究代表者：横田 裕行 日本体育大学）

医療機関を対象にweb調査を実施。調査項目に関しては、回答者の個人情報や渡航移植患者の個人等（*）が特定できないよう配慮する。

（*）例えば個別の対象医療機関や仲介機関の名称等が特定される形での結果の公表は行わないこととして調査を実施

○ 対象医療機関

日本移植学会、日本臨床腎移植学会、日本肝移植学会、日本心移植研究会、日本肺および心肺移植研究会に所属する
移植実施施設 203施設 280診療科

※海外渡航移植患者も含め移植後患者は、移植臓器機能維持のため免疫抑制薬の内服および血中濃度モニタリングが必要であり、その多くは移植を専門とする医療機関に通院する。このことから、移植実施施設に渡航移植患者の診療の有無等を調査した。その際、上記医療機関に関連する移植外来実施施設における患者数等の情報も含めて報告されている。

○ 調査項目

- ① 診療を行っている臓器および診療科
- ② 令和5年3月31日時点での移植後の外来通院患者数
- ③ ②のうち渡航移植後患者数
- ④ ③の患者の臓器提供者の種類（生体又は死体）
- ⑤ ③の患者の渡航国とその人数
- ⑥ ③の患者が渡航した際の仲介機関の関与の有無
- ⑦ 臓器移植の実施時期に関わらず、過去5年間に当該医療施設で移植臓器の機能不全又は死亡に至った事例の人数
およびその者の臓器移植後の期間

【報告】 海外渡航移植患者の実態調査の結果

- 回答数：203施設 280診療科（うち腎臓171 肝臓87 心臓11 肺11）
- 渡航移植患者の診療を実施している施設：88施設 111診療科（腎臓71 肝臓29 心臓9 肺2）
- 令和5年3月31日時点での移植後の外来通院患者数 31,684名（国内で臓器移植を受けた患者31,141名も含む）
- 渡航移植者数：543名
 - 生体ドナー：42名（腎臓36名 肝臓6名）
 - 死体ドナー：416名（腎臓131名 肝臓135名 心臓148名 肺2名）
 - 不明：85名（腎臓83名、肝臓2名）
- 渡航先
 - 米国 227名（うち腎臓58名 肝臓36名 心臓131名 肺2名）
 - 中国 175名（うち腎臓140名 肝臓34名 心臓1名）
 - オーストラリア 41名（うち肝臓41名） フィリピン 27名（うち腎臓27名）
 - ドイツ 13名（うち肝臓2名 心臓11名） コロンビア 11名（うち肝臓11名）
 - ベラルーシ 5名（うち肝臓5名） インド 4名（うち腎臓3名 肝臓1名）
 - パキスタン 4名（うち腎臓4名） スウェーデン 4名（うち肝臓4名）
 - カナダ 4名（うち肝臓1名 心臓3名） ベトナム 3名（うち腎臓3名）
 - 韓国 3名（うち腎臓2名 肝臓1名） ブルガリア 2名（うち腎臓2名）
 - タイ 2名（うち腎臓1名、肝臓1名） イギリス 2名（うち心臓2名） トルコ 1名（うち腎臓1名）
 - カザフスタン 1名（うち腎臓1名） メキシコ 1名（うち腎臓1名） ブラジル 1名（うち腎臓1名）
 - カンボジア 1名（うち腎臓1名） 台湾 1名（うち肝臓1名） アルゼンチン 1名（うち肝臓1名）
 - エジプト 1名（うち肝臓1名） イタリア 1名（うち肝臓1名）
 - 不明 7名（うち腎臓5名 肝臓2名）
- 過去5年間^(*)に移植臓器の機能不全又は死亡のため当該医療機関への外来通院が中止となった事例の、臓器移植実施後から臓器の機能不全および死亡に至るまでの期間 (*) 移植実施時期が5年以上前の事例も含まれる。
 - 移植臓器の機能不全 25名 (0-22年)、死亡 38名 (0-25年)